

東海三県地域の水資源確保や多発する災害対策として、木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)流域の保全と水の安定供給を目的とした水源地域の森林整備を進めています。

近年において、森林の公益的機能の高度発揮に対する要請が益々高まり、地球温暖化防止や国土の保全、あるいは生物多様性の保全や保健・レクリエーションの場の提供など森林の多面的機能へのニーズは大きくなっています。このため、今後一層重要となる「水源林」としての機能をさらに高めるため、間伐等を適切に実施しつつCO2の吸収量の増大を図ります。さらには、流域の住民参加による、間伐や水源林散策などを体験できる水源林見学会等の活動を通し、自治体や住民、企業との連携による森林づくりを進めています。

プロジェクトの実施場所	岐阜県高山市、下呂市、 中津川市
吸収量(予測)	年間 6,662 t-CO2
在庫量(2012年6月時点)	13,497 t-CO2
クレジットの発行時期	2012年3月27日
1t-CO2あたりの希望単価	応相談

岐阜、愛知、三重県及び名古屋市等の出資による当公社の水源林整備に関わるクレジットを、企業活動に伴う環境負荷をオフセットするために使用することで、上・下流連携を強めるとともに企業イメージの向上に役立つと考えています。

また、公社では、木曾三川を水源とする下流域の人達に「水源林整備」の大切さを啓発・普及するとともに、公社の目的、役割、実績などに対する理解を深めるために、毎年、夏休みに「水源林見学会」を開催しています。

平成23年度は、8月6日に「第13回水源林見学会」を開催し、愛知県、岐阜県、三重県から親子22組60名の参加がありました。



■担当者連絡先

社団法人木曾三川水源造成公社 業務課 佐藤  
TEL:0577-33-4011(内線407)  
Mail:sato@kiso3sen.org